

〔科目名〕 経営戦略論 I	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目 基幹科目
〔担当者〕 小林 哲也 こばやし てつや	〔オフィス・アワー〕 時間: 初回授業時に連絡 場所: 研究室(506)	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 <p>「経営戦略論」は、現代経営学において重要な学問領域のひとつであり、企業や組織の長期的成長を実現するために必要な領域として考えられています。経営戦略は、文字通り「戦略(Strategy)」であり、企業にとっては成長の実現と、生き残りを図るための手段でもあります。経営戦略を知ることは、企業や組織の成長過程を知ることであり、このことは、産業や経済全体を知るための手段にもつながっていきます。</p> <p>本講義では、「経営戦略とは何か?」という基本的なところからスタートし、経営戦略論における重要な領域の一つである「事業戦略」について、機能別戦略という点を学ぶことで、「企業がどのような意図をもって、製品やサービスを提供し、企業の持続的成長を実現しようとしているのか?」という点に着目して、授業を展開していきます。</p>		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつか?」 〔他科目との関連付け〕 <p>経営戦略は、単に企業内部の事情だけで判断されるものではなく、企業内外のさまざまな機能を結び付け、各機能をもとに立案していきます。これらは、市場環境や社会環境、経済動向などさまざまなものに影響され、また、その戦略は、企業内外のさまざまな事象にも影響を与えていきます。経営戦略では、マーケティングやサービス、研究開発、財務、人的資源など幅広い分野の知識や情報をもとに融合させていく学問領域です。そのため、これら、経営・経済関係のさまざまな分野の幅広い知識が求められます。このことから、経営戦略論には、経営学の基本的な領域の学修に加えて、経済学などの幅広い分野の知識が必要となりますので、これら領域の習得に努めてください。</p> 〔学んだことが何につながるか〕 <p>経営学科のディプロマポリシーにある「市場はもとより、多様な環境の変化に適応するだけでなく、自らが戦略的に変革を目指し、実践できる人材」と「会計データを読み、資金の調達や運用に関わる財政上の問題を見出し、それに関する解決策を提示する人材」に係る能力の構築に深く関係します。また、「組織と個人の関わり合いや、組織における複雑な人間関係の問題に焦点をあてながら、多人数の協働を確立し、維持・発展できる人材」に係る能力の導入を進め、ディプロマポリシーに明示された能力の構築を目指します。</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <p>本講義では、経営戦略の基本と事業戦略の学修を通じて、経営学の重要な構成要素の知識を修得し、理解できるようになることが目標となります。また、経営戦略は、企業内外のさまざまな情報を組み合わせて策定される分野でもあることから、自ら得たさまざまな情報から取捨選択して、自ら考え、判断できる能力の構築を目指します。</p> <p>この能力の構築を通じて、経営学科のディプロマポリシーにある「市場はもとより、多様な環境の変化に適応するだけでなく、自らが戦略的に変革を目指し、実践できる能力」と「会計データを読み、資金の調達や運用に関わる財政上の問題を見出し、それに関する解決策を提示する人材」に係る能力の構築を最終的な到達目標とします。また、授業を通じて「組織と個人の関わり合いや、組織における複雑な人間関係の問題に焦点をあてながら、多人数の協働を確立し、維持・発展できる」能力の導入を進め、その基本的な能力の構築を目指します。</p>		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 担当教員にとって初年度の授業のため、コメント等はいりません。		
〔教科書〕 特に指定しません		
〔指定図書〕 以下は、講義における参考文献として紹介します。 網倉久永・新宅純二郎『経営戦略入門』日本経済新聞社、2011年 シュムペーター、J.A、塩野・中山・東畑訳『経済発展の理論(上・下)』岩波文庫、1977年 バーニー、J.B 著、岡田正大訳『企業戦略論』(基本編・事業戦略編)ダイヤモンド社、2003年 宮崎正也『コア・テキスト事業戦略』新世社、2011年		
〔参考書〕 青島矢一・加藤俊彦『競争戦略論』東洋経済新報社、2003年 伊丹敬之『経営戦略の論理』日本経済新聞社、2012年		

沼上幹『わかりやすいマーケティング戦略』有斐閣、2000年
 チャンドラーJr,A.D、三菱経済研究所訳『経営戦略と組織』実業之日本社、1967年
 ポーター、M.E 著、土岐・中辻・服部訳『競争の戦略』ダイヤモンド社、1982年
 ポーター、M.E 著、土岐・中辻・服部訳『国の競争優位(上・下)』ダイヤモンド社、1992年

【前提科目】

経営学科における基礎科目を修得していることが望ましい。

【学修の課題、評価の方法】(テスト、レポート等)

学期末試験の結果:50%

授業の理解度や疑問点を把握するために毎回実施するリアクションペーパーの内容:50%

学期末試験の方法等については、試験前の授業時に説明します。

ただし、特別の配慮が必要な方については、個別に対応します。

【評価の基準及びスケール】

上記の配分に従い、下記の点数の範囲で評価を行います。

A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～50点、F:49点以下

【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】

大学で経営学の基礎的な領域を学んできた学生の皆さんが理解しやすいように、丁寧に、具体的事例を活用しながら授業を進めます。

授業開始前には、シラバスをもとに授業で取り扱う内容について、参考文献などを参照して内容を見ておくことが求められます。また、授業後には、授業内容を振り返り、内容を確認しておくこと、わからないことがあった場合には、担当教員に確認することなどとして、疑問点を解決しておくことが求められます。授業における標準的な事前・事後学習時間は、3時間です。

【実務経歴】

調査研究機関での研究員としての勤務実績(10年間)

授業スケジュール

第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): インTRODクシヨン</p> <p>内 容: 授業の進め方となぜこの内容を学ぶのかについての概要説明。この授業で何を学ぶのかを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書 指定しない</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 経営戦略の構成</p> <p>内 容: 「経営戦略」はどのような内容によって構成されているのかの概要。経営戦略はどのような領域によって構成されているのかを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書: 網倉・新宅 第1章</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 戦略と目標・目的の関係</p> <p>内 容: 企業の目標・目的と経営戦略との関係の説明。経営戦略と企業の目標・目的との関係が理解できる。</p> <p>教科書・指定図書: バーニー 第1章・第2章</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 競争優位</p> <p>内 容: 競争優位の概要と確立方法についての概要。競争優位とは何かを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書: 網倉・新宅 第2章</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 業界構造</p> <p>内 容: 業界構造の分析手法についての概要。業界分析がなぜ必要なのかを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書: 網野・新宅 第3章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 脅威と機会</p> <p>内 容: SWOT 分析の概要。企業における脅威と機会を理解できる。</p> <p>教科書・指定図書: バーニー 第3章 第4章</p>

第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):強みと弱み 内 容:SWOT 分析の概要。企業における強みと弱みを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書:バーニー 第5章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):垂直統合 内 容:垂直統合モデルの概要。市場取引のメリットとデメリットを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書:網野・新宅 第12章</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):コストリーダーシップ 内 容:価格による競争とは何かの概要。コスト優位の要因を理解できる。</p> <p>教科書・指定図書:バーニー 第7章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):差別化 内 容:差別化戦略の概要。差別化戦略とは何かを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書:宮崎 第2章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):競争ポジション 内 容:競争ポジションの種類とその戦略。競争ポジションとは何かを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書:網野・新宅 第7章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):製品ライフサイクル 内 容:製品寿命とその特徴の概要。製品ライフサイクルとは何かを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書:網野・新宅 第8章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):イノベーション 内 容:イノベーションの概要。イノベーションが企業の成長になぜ不可欠なのかを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書:シュンペーター 第2章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):顧客価値 内 容:顧客価値と価値の源泉、差別化戦略との関係の概要。顧客価値とは何かを理解できる</p> <p>教科書・指定図書:網野・新宅 第6章</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):まとめ 内 容:授業内容のまとめと、学生からの質問等に対するフィードバック。経営戦略論とは何かを理解できる。</p> <p>教科書・指定図書:指定しない</p>
試験	<p>期末試験を実施の予定</p>